事前課題

第 23 回 神奈川県障害者技能競技大会

ホームページ 事前課題

1. 競技の概要

競技参加者は、この事前課題にしたがって競技当日までに競技参加用の作品を作成しておくことが求められる。当日は、その作品を元に新たに示される課題に取り組む。

2. 競技時間

60分

3. 課題の概要

神奈川県内で作られている農産物の魅力を伝え、直接販売されている直売所を紹介し、地元の農業事業者を支援するホームページの作成依頼が農業振興協会からあったと想定する。

事前課題では次の内容を最低限用意する。

- (1) 神奈川農産物直売所サイトトップページ
- (2) 県内の直売所が検索できる内容を用意する
- (3) 直売所の詳細ページを作成し、営業時間や所在地など、訪問に役立つ情報を提供する。

※この事前課題の制作物は、競技当日にも使用する

4. 要件

[概要]

地元住民に直売所と新鮮な農産物の魅力を伝え、直売所への来訪を促す紹介コンテンツを作成する

[想定する利用者について]

地場産品に関心があり、食を楽しむために直売所を訪れる方

[最低限必要な要件について]

- ・ 直売所詳細ページの作成は 2 か所用意し、それぞれ特長がわかり易いようにする
- ・ 直売所検索は利用者が検索しやすい項目を設定する
- ・ 検索結果は、視覚的にわかり易い一覧とする。
- ・ 検索結果から直売所詳細ページが参照できるようにリンク設定を行う
- ・ 写真やイラストは知的財産権を侵害しないこと。動画は必要ない
- ・ 利用者は高齢者、障害者も意識してください
- ・ レスポンシブデザインで作成する。

スマートフォン：画面幅 320px～767px タブレット：画面幅 768px～1279px

デスクトップ：画面幅 1280px 以上

[その他の仕様]

- ・ ソースコードは見やすく分かりやすく記述すること
- ・ 他人の力を借りず、競技者自身が今回の競技の為に新たに作成すること
- ・ 動画、画像、音楽、文章等は他人の知的財産権を侵害しないことを条件に使用して良い
- ・ 使用して良い技術は、HTML、CSS、JavaScript、jQuery、Bootstrap
- ・ 使用していけない技術は、使用して良い技術以外の技術、プラグインや CMS
- ・ 文字コードは UTF-8 を使用すること
- ・ ローカル環境（インターネットに接続されない）で閲覧可能なコンテンツとして用意すること
- ・ 障害のある方に配慮したホームページを作成すること
- ・ 仕様に書かれていないことについては、自身で判断して構わない

5. 作品提出方法

作成した作品は CD/DVD1 枚に保存し、大会当日競技会場へ持参すること。

6. 当日課題について

課題は競技開始後に示される。概ね 2～3 題（15%～20%）程度変更する。

直売所で開催されているイベント情報を追加し、トップページから遷移できるようにするなど

7. 当日にすること

- ・ 競技が開始されたら次のようにして課題に取り組むこと
- ・ 事前課題として作成してきた作品を競技用 PC にコピーし編集・閲覧を可能にする
- ・ 必要があれば、用意した素材(アイコン、イラスト、写真など)も PC にコピーする。
コピーするものは原則フリーのものが望ましい
- ・ 特別に高価な素材などの利用が認められる場合には、利用を控えていただく場合がある。あるいは加点の対象としない
- ・ 素材については、CD/DVD に入れて持参すること。但し、1 枚までとする

8. 競技当日の作品提出方法

作成した作品は、大会主催者が用意する競技用「USB メモリ」内の「作品」フォルダ内に提出する。「作品」フォルダ内は、サブフォルダの作成も含め、適宜設定してよい。

9. 競技における使用機器・ソフトウェア

OS : Microsoft Windows 11 Pro (デスクトップ PC)

ブラウザソフト : Google Chrome

テキストエディタ : Tera Pad (フリーソフト) SublimeText (フリーソフト)

画像閲覧ソフト : XnView (フリーソフト)

10. 注意事項

- ・ 競技に使用するパソコン、OS、ソフトウェアは、主催者側で用意したものとする
- ・ 競技パソコンの Windows に標準インストールされているソフトウェアは自由に使用して良い

- ・ ソフトウェアは大会主催者が用意するものを使用し、他のソフトウェアの持ち込みは認めない
- ・ 市販の参考図書は原則 1 冊までの持ち込みを認める。全部あるいは一部を点訳したもので構わない（持ち込む参考図書は当日、内容を確認する）
- ・ ノートやメモ紙、印刷物などの紙媒体の持ち込みは認めない。違反が認められた場合は、競技への参加を辞退してもらう場合がある
- ・ 競技中インターネット接続による Web ページの閲覧はできない
- ・ 障害特性により、競技参加において必要とする補助具等がある場合は、事前に事務局に申し出ること。ただし、競技の公平性や、会場設営の都合等を考慮した結果、必ずしも希望に添えない場合があること
- ・ これらの補助具等は、競技者自身が持参し、大会当日に競技委員立会いのもと導入する。ただし、導入に関して不具合があっても特別な配慮はしないこと
- ・ その他については、競技委員の指示に従うこと

11. 採点方法

- ・ 課題で示した仕様に従って作成する。（基礎力）
- ・ 分かりやすく使いやすい。間違いなど含まない。（技術力）
- ・ 競技者のアピールポイントが良く伝わってくる。（訴求力）
- ・ 競技者独特のユニークさがある。（独創性）
- ・ 人を惹きつけるデザインになっている。（芸術性）
- ・ 障害の有無に関係なく誰でも利用できるように配慮されている。（アクセシビリティ）

なお、採点は、競技当日に作成されたものを対象にして行われる。
事前に持ち込まれた素材等については採点の対象とはならない。